

カメラの設定と意味

1. 絞り (F値) …被写体のどこまでにピントを合わせどれくらいまでボケさせるのか

レンズを通る光の量を調整する機構です。絞りを開放すると光が多く入り、被写界深度が浅くなり、背景がボケやすくなります。逆に絞り込むと光が少なくなり、被写界深度が深くなり、全体的にピントが合いやすくなります。



f / 4
開く <



f / 1 1



f / 2 2
> 絞る

絞りの設定例

- ポートレート:** 人物を綺麗に際立たせたい場合は、F値を小さくして背景をボカす（例：F1.8、F2.8）。
- 風景写真:** 全体的にピントを合わせたい場合は、F値を大きくする（例：F8、F11）。
- 夜景:** 光量が少ない状況で手ブレを防ぎたい場合は、F値を小さくしてシャッタースピードを速くする（例：F2.8、F4）。

2. シャッタースピード…カメラのシャッターが開いている時間のこと、写真の明るさや被写体の動きを表現する上で重要な要素

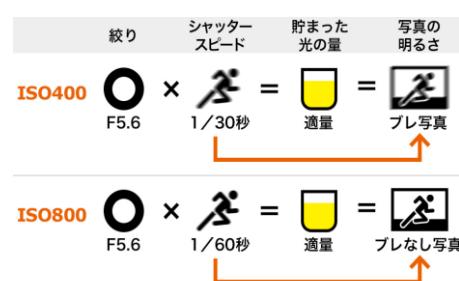


速い <————> 遅い



3. ISO…デジタルカメラにおける感度設定

デジタルカメラで光を電気信号に変換する際の增幅率を表す数値です。ISO 感度を高くすると、少ない光でも明るく撮影できますが、ノイズ（ざらつき）が増える傾向があります。逆に、ISO 感度を低くすると、より多くの光が必要になりますが、ノイズの少ないクリアな写真を撮影できます。



4. 露出補正…カメラが自動で設定した明るさ（露出）を、撮影者の意図に合わせて調整する機能

露出は、絞り、シャッタースピード、ISO 感度の 3 つの要素で決まります。露出補正を行うと、カメラはこれらの要素を自動的に調整して、写真の明るさを変えます。

露出補正が必要な場合

- 逆光:** 被写体が暗く写ってしまう場合、露出をプラス側に補正します。
- 雪景色:** 明るい雪景色を撮影する場合、露出をプラス側に補正しないと、雪がグレーに写ってしまう場合があります。
- 黒い被写体:** 黒い被写体を撮影する場合、露出をマイナス側に補正しないと、黒がグレーに写ってしまう場合があります。
- 明暗差が大きいシーン:** 明暗差が大きいシーンでは、カメラが自動で露出を調整しきれない場合があります。この場合、露出補正で調整する必要があります。

露出補正の注意点

- 露出補正是、カメラが自動で設定した露出を基準に、明るさを調整する機能です。必ずしも自分の意図した明るさになるとは限りません。
- 露出補正を過度に行うと、写真が白飛び（明るすぎてディテールが失われる）したり、黒つぶれ（暗すぎてディテールが失われる）したりする場合があります。
- 露出補正是、状況に応じて適切に使い分けることが重要です。

5. ホワイトバランス

光源の色味を補正し、見た目に近い色で写真を再現します。通常はAWB（オートホワイトバランス）で問題ありませんが、特定の光源下ではWBを調整する必要があります。

6. 測光モード

画面内のどの部分を基準にして明るさを測るかを設定します。多分割測光が一般的ですが、逆光時や特定の被写体を強調したい場合は、他のモードも試してみましょう。

7. AFモード

オートフォーカス（AF）のモードを設定します。シングルポイントAF、コンティニュアスAFなど、被写体や状況に合わせて使い分けましょう。

8. 撮影モード

1) Pモード（プログラムAEモード）：

カメラが自動でシャッタースピードと絞りを調整し、適正露出で撮影します。初心者の方や、状況をあまり考えずに気軽に撮影したい場合に便利です。

2) A/Avモード（絞り優先モード）：

F値（絞り）を自分で設定し、背景のボケ具合などを調整できます。ポートレート撮影や、特定の被写体を際立たせたい場合に有効です。

3) S/Tvモード（シャッター速度優先モード）：

シャッタースピードを自分で設定し、動きのある被写体を捉えたり、水の流れを表現したりできます。スポーツ写真や風景写真で効果を発揮します。

4) Mモード（マニュアルモード）：

シャッタースピード、絞り、ISO感度をすべて自分で設定します。よりクリエイティブな表現を追求したい場合に挑戦してみましょう。

前回のまとめ「印刷サイズと縦横比」

印刷用紙名称	サイズ：縦×横(mm)	縦横比	トリミング 縦横比	長手方向で消える(印刷されない)割合
L版	127：89	1.43：1	7：5	約5%
2L版	178：127	1.40：1	7：5	約6.5%
ポストカード	148：100	1.48：1	7：5	約1.3%
A4	297：210	1.41：1	7：5	約5.7%
A3	420：297	1.41：1	7：5	約5.7%
A3ノビ	483：329	1.49：1	3：2	約2.1%
六つ切り	254：208	1.22：1	5×4	約18%
四つ切り	305：254	1.20：1	5×4	約20%
全紙	560：457	1.22：1	5×4	約18%
四つ切りワイド	356：254	1.40：1	7：5	約6.5%

↑
概算

↑
撮影を「3：2」で行った場合